



対話と思索で
未来の経営を
構想する

第68回 軽井沢トップ・マネジメント・セミナー

「令和時代の生産性改革～未来を切り拓く経営者の役割～」

日時 2025年 7月9日(水) 10:30 ▶ 7月10日(木) 15:00

参加者 企業・団体のトップマネジメントおよび経営幹部の方

会場 軽井沢プリンスホテル ウエスト



公益財団法人 日本生産性本部



年に一度、都心の喧騒を離れた環境で、 自身の経営のあり方に向き合う 思索の時間。

軽井沢トップ・マネジメント・セミナーは、日本で最初の経営者セミナーとして1958年(昭和33年)に開催されて以来、67回にわたり実施してまいりました。2025年7月に開催される第68回軽井沢トップ・マネジメント・セミナーでは「令和時代の生産性改革～未来を切り拓く経営者の役割～」を統一テーマとして掲げました。

地政学リスクや貿易戦争、社会の分断、環境問題、物価高騰など、世界の経済社会を取り巻く環境の不確実性が高まっています。こうした影響は当然ながら、わが国の経済社会にも及んでいます。加えて国内では、人口減少による深刻な労働力不足など多くの解決困難な課題が山積しています。

このような厳しい環境下において、日本経済を再び成長軌道に乗せていくためには、経済成長の主役である企業が変革を遂げ、付加価値を生み出し、生産性向上と賃上げの好循環をつくりだしていかなければなりません。

こうした問題意識のもと、我々は、不確実性の高い経営環境においても、企業が持続可能な成長に向けた構想を練り、未来を切り拓くための経営革新を推進することで、産業界から日本を活性化していくという前向きなビジョンを発信していきたいと考えております。

■ 経営に真正面から向き合える環境

都会の喧騒からあえて離れて軽井沢という非日常空間に身を置くことで、経営について真正面から向き合うことができます。そこで最新の経営トレンドやベストプラクティスを学び、経営のあり方や戦略の方向性をじっくりと構想いただけます。

■ 多様性に富んだ講師陣

総合コーディネーターである富山和彦氏(IGPIグループ会長)をはじめ、卓越した企業経営者・有識者が登壇。また、ベテラン経営者から新進気鋭の起業家、大企業から中小・スタートアップに至るまで、様々な業種業態の多様性に富んだ講師陣を通じて、思考の幅も大きく広がります。

■ オンラインセミナーでは得られない講師・参加者同士の交流を深めるプログラム構成

全セッションを円卓で実施するなど、参加者同士のコミュニケーションを促進いたします。また、各分科会ではテーマ毎のグループに分かれ、講演を聞くだけでなく、講師やモデレーターの進行のもと、同じテーブルの参加者とテーマについて情報交換をする時間を設けます。他社の事例や参加者の意見を通じて気づきや学びを得ることができ、人脈も広がる機会となります。

Time Schedule

1日目／7月9日（水）

10:30～10:35 開会挨拶 日本生産性本部 会長
10:35～10:55 問題提起 IGPIグループ会長 富山 和彦 氏

11:00～12:00 基調講演「**日立の経営改革から考える技術革新による社会課題解決の価値**」(仮題)
日立製作所 取締役会長 代表執行役 東原 敏昭 氏

13:15～16:15 意見交換型分科会

A「次代を創る経営者の育成と人的資本投資」

ゲストスピーカー

テルモ 代表取締役社長CEO 鮫島 光 氏

梅乃宿酒造 代表取締役五代目蔵元 吉田 佳代 氏

モデレーター

ボードアドバイザー
代表取締役社長 佃 秀昭 氏

B「付加価値創出の実現」

ゲストスピーカー

モスフードサービス 代表取締役社長 中村 栄輔 氏

東京エレクトロン コーポレートオフィサー
専務執行役員 長久保 達也 氏

モデレーター

大阪大学大学院経済学研究科 教授／
エコミクスデザイン 共同創業者 安田 洋祐 氏

17:30～19:00 パネルセッション「**次代を担う経営者の挑戦**」

ゲストスピーカー

aba 代表取締役CEO 宇井 吉美 氏

ELYZA 代表取締役CEO 曾根岡 侑也 氏

モデレーター

IGPIグループ会長 富山 和彦 氏

19:00～ 夕食交流会

2日目／7月10日（木）

早朝プログラム（バードウォッチング／マインドフルネス）

9:00～11:30 意見交換型分科会

C「企業価値を高めるデジタル革新」

ゲストスピーカー

フジテック 専務執行役員 友岡 賢二 氏

トリドールホールディングス
執行役員兼 CIO 兼 CTO 磯村 康典 氏

モデレーター

早稲田大学大学院経営管理研究科、
早稲田大学ビジネススクール 教授 入山 章栄 氏

D「企業によるイノベーションと地方創生」

ゲストスピーカー

マクアケ 代表取締役社長 中山 亮太郎 氏

MAE 代表取締役／
GEN風景 代表取締役 前田 大介 氏

モデレーター

WAmazing 代表取締役CEO 加藤 史子 氏

13:00～14:30 特別講演「**日本のスポーツ産業の持続的発展に向けて**」(仮題)

スポーツ庁 長官／東京科学大学 特命教授 室伏 広治 氏

14:40～14:55 総合コーディネーター総括 IGPIグループ会長 富山 和彦 氏

15:00 閉会

※スケジュールや各セッションのテーマおよび登壇者は変更となる場合がございます。

※各分科会ならびに早朝プログラムの選択は、お申込みいただいた後にお送りする「参加のしおり」にて希望をお伺いいたします。

統一テーマ | 令和時代の生産性改革～未来を切り拓く経営者の役割～

総合コーディネーター



IGPIグループ会長 富山 和彦 氏

1960年生まれ。東京大学法学部卒、在学中に司法試験合格。スタンフォード大学でMBA取得。2003年から4年間、産業再生機構COOとして三井鉱山やカネボウなどの再生に取り組む。機構解散後、2007年に経営共創基盤(IGPI)を設立し代表取締役CEO就任。2020年12月より現職。日本共創プラットフォーム(JPiX)代表取締役会長、パナソニックホールディングス社外取締役、メルカリ社外取締役。日本取締役協会会長、内閣官房「新しい資本主義実現会議」有識者構成員、他政府関連委員多数。

1日目 7月9日(水)

■ 基調講演

日立の経営改革を主導し、グローバルな視点から技術革新を通じてエネルギー・環境・DXなどの社会課題解決に挑まれた経験を基に、価値創造と持続的成長を実現する経営戦略についてご講演いただく。



日立製作所 取締役会長 代表執行役 東原 敏昭 氏

1977年日立製作所入社。電力や鉄道など様々な分野の制御システムの品質保証や取り纏め業務に長く従事。国内外の子会社社長等の経営経験を経て、2014年執行役社長兼COO兼取締役、2016年執行役社長兼CEO兼取締役、2021年執行役会長兼CEO兼取締役、2022年4月より現職。社外でも経団連において副会長を経て審議会副議長を務めるほか、日本科学技術振興財団理事長などを務め、社会課題解決や科学技術教育支援に尽力。

分科会 A「次代を創る経営者の育成と人的資本投資」

経営者等次世代リーダーの育成を含めた人的資本投資を通じて、個人の能力を最大限に引き出し、組織の持続的成長を実現している企業の特徴を探る。



ゲストスピーカー 鯨島 光 氏

テルモ 代表取締役社長CEO

1964年生まれ。1988年慶應義塾大学 経済学部 卒業、東亜燃料工業(現ENEOS)入社。シティバンクを経て、2002年テルモ入社。経営企画室や心臓血管カンパニーにおいて多数のクロスボーダーM&Aを手がけ、テルモのグローバル化とポートフォリオ変革に貢献。心臓血管カンパニープレジデント、メディカルケアソリューションズカンパニープレジデントを務めたのち、2024年4月に社長CEO就任。同年6月より現職。デューク大学経営学修士(MBA)。



ゲストスピーカー 吉田 佳代 氏

梅乃宿酒造 代表取締役五代目蔵元

1979年奈良県生まれ。帝塚山大学経営情報学部卒業。商社にて総務実務に3年携わり、その後家業の梅乃宿酒造に入社。営業、常務取締役を経て、現在代表取締役。趣味は読書、旅行、料理。「やらなかった後悔よりやった後悔」「何事にも一生懸命」を座右の銘とし、何事にも積極的にチャレンジする行動派。プライベートでは2児の母であり、家事、育児、仕事と何でもこなす。梅乃宿酒造の事業コンセプト『新しい酒文化を創造する蔵』に向かって日々奮闘中。



モデレーター 佃 秀昭 氏

ボードアドバイザーズ 代表取締役社長

1986年東京大学法学部卒業、MITスローン経営大学院修了。三和銀行、マクラガン・パートナーズを経て、2000年スイス本社のエゴンゼンダーに入社。日本法人社長、グローバル経営会議メンバーを歴任。2019年3月現株式会社ボードアドバイザーズの事業開始。取締役会実効性評価、社長後継者計画、経営幹部コーチング等に従事。金融庁、経済産業省の有識者会議メンバーを歴任。

分科会 B「付加価値創出の実現」

独自の差別化やブランド戦略、開発力の強化や顧客密着度により、高い付加価値を創出している企業の要諦を考察し、付加価値創出を通じた生産性向上について議論する。



ゲストスピーカー 中村 栄輔 氏
モスフードサービス 代表取締役社長

1958年福岡県生まれ。1982年中央大学法学部卒。1988年モスフードサービス入社、1995年法務部長、1997年社長室長、法政大学院修士課程修了(経営学修士MBA)、2007年執行役員 第四営業本部長、2008年執行役員 モスフードサービス関西代表取締役社長、2010年取締役執行役員 開発本部長、2012年ハーバードビジネススクールAMP修了、取締役執行役員 営業本部長、2014年常務取締役執行役員、2016年代表取締役社長(現任)。



ゲストスピーカー 長久保 達也 氏
東京エレクトロン コーポレートオフィサー Global Business Platform本部 ファイナンス本部担当
専務執行役員

1986年東京エレクトロン入社。2004年財務部部長、2010年人事部部長兼人材開発センター長、2011年執行役員兼人事部長兼人材開発センター長、2015年取締役 人事・総務本部長/CSR推進担当 執行役員、2017年取締役 人事・総務・CSR推進担当 常務執行役員 コーポレート管理本部 副本部長、2022年コーポレートオフィサー 専務執行役員 Global Business Platform本部 本部長などを経て現職。



モデレーター 安田 洋祐 氏
大阪大学大学院経済学研究科 教授/エコノミクスデザイン 共同創業者

政策研究大学院大学助教授、大阪大学経済学部准教授を経て、2022年7月より同大学教授。専門はゲーム理論、マーケットデザイン。American Economic Reviewをはじめ、国際的な経済学術誌に論文を多数発表。2020年6月に株式会社エコノミクスデザインを共同で創業。政府の委員やテレビのコメンテーターとしても活動。主な著書(共著)に『日本の未来、本当に大丈夫なんですか会議』(2024年)など。

■ パネルセッション「次代を担う経営者の挑戦」

次代を担う経営者が描く未来と経営における考え方や価値観をもとに、これからの経営の在り方について若手経営者と共に思索する。



ゲストスピーカー 宇井 吉美 氏
aba 代表取締役CEO

中学時代に祖母がうつ病と診断され、介護家族となった経験を元に、介護者を支えるロボット開発の道に進む。2011年千葉工業大学在学中に株式会社abaを設立。学生時代、実習先の特別養護老人ホームにて「おむつを開けずに中が見たい」という介護現場の願いを聞き、において検知する排泄センサー「Helppad(ヘルプパッド)」を開発・製品化。おむつ交換タイミングの最適化や排泄情報の活用により介護する人・される人双方の負担軽減を目指す。日経WOMAN「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2024」(日経BP主催、内閣府後援)に選出。



ゲストスピーカー 曾根岡 侑也 氏
ELYZA 代表取締役CEO

東京大学大学院工学系研究科松尾研究室修士卒。学生時代に未踏プロジェクトに採択され、起業を経験。その後、松尾研究室にて共同研究のプロジェクトマネージャーやNLP講座の企画・講師を務める。2018年に株式会社ELYZAを設立。同社は、生成AI(人工知能)の基盤となる大規模言語モデル(LLM)の開発を手掛け、2024年KDDIの連結子会社となる。KDDIはLLMの開発に欠かせない計算基盤の整備に今後1000億円規模の投資をすると発表。2020年より、株式会社松尾研究所 取締役を兼任。未踏クリエイター。

モデレーター 富山 和彦 氏 IGPIグループ会長

分科会 C「企業価値を高めるデジタル革新」

AIをはじめとするデジタル技術を活用した経営革新事例を通じ、企業の変革力と競争優位性を高めるために経営陣が担うべき役割は何か、議論する。



ゲストスピーカー 友岡 賢二 氏

フジテック 専務執行役員 デジタルイノベーション本部長

1989年早稲田大学商学部卒業、松下電器産業入社。ドイツ・イギリス・アメリカにおいて通算12年間にわたり海外駐在を経験。ファーストリテイリングにて業務情報システム部長を務めた後、2014年よりフジテックに入社。現在はCIOおよびCDOとして製造業DXを牽引中。一般社団法人コミュニティマーケティング推進協会フェロー。



ゲストスピーカー 磯村 康典 氏

トリドールホールディングス 執行役員 兼 CIO 兼 CTO 最高情報責任者 兼 最高技術責任者

富士通へ入社し、システムエンジニアとしてのキャリアを開始。2000年、ソフトバンクへ入社し、ネット通販事業のECシステム開発・運用責任者を務める。2008年にガルフネット執行役員へ就任、2012年にはOakキャピタル執行役員へ就任し、ハンズオンによる経営再建に従事。2019年にトリドールホールディングス執行役員CIOへ着任。シェアードサービス子会社社長を兼務し、現職に至る。



モデレーター 入山 章栄 氏

早稲田大学大学院経営管理研究科、早稲田大学ビジネススクール 教授

慶應義塾大学卒業、同大学院経済学研究科修士課程修了。三菱総合研究所でコンサルティング業務に従事後、2008年 米ピッツバーグ大学経営大学院より Ph.D.(博士号)取得。同年より米ニューヨーク州立大学バッファロー校ビジネススクール助教授。2013年より早稲田大学大学院 早稲田大学ビジネススクール准教授。2019年より教授。専門は経営学。国際的な主要経営学術誌に論文を多数発表。メディアでも活発な情報発信を行っている。

分科会 D「企業によるイノベーションと地方創生」

自社の強みを活かして競争力を高める秘訣や、地域資源の価値化を通じた事業創出、企業の成長と共に地域経済を活性化させている事例を学ぶ。



ゲストスピーカー 中山 亮太郎 氏

マクアケ 代表取締役社長

2006年に株式会社サイバーエージェントに入社後、社長運転手の傍ら新規のオンラインメディアを立ち上げ、その後ベトナムでのベンチャーキャピタル事業を担当。2013年に現在の株式会社マクアケを創業し、アトラシイものや体験の応援購入サービス「Makuake(マクアケ)」をリリース。2019年12月には東証マザーズに株式を上場。大企業、中小企業、スタートアップ、個人チームなど、規模を問わず、挑戦者の背中を押す事業の拡大を目指す。一般社団法人ベンチャー型事業承継の理事として日本全国のアトツギベンチャーを応援する活動も推進している。2022年「第4回日本サービス大賞」経済産業大臣賞を受賞。



ゲストスピーカー 前田 大介 氏

MAE 代表取締役／GEN風景 代表取締役

1979年富山県生まれ。同志社大学商学部卒業後、会計事務所を経て2008年にMAE(旧前田薬品工業)に入社。2014年に三代目社長に就任。経営手腕を発揮し、瀕死の危機にあった同社を急成長させる。薬の都、富山で皮膚疾患薬専門の製薬会社を営む傍ら、病気と薬のない世界を目指した美と健康の体験型施設「Healthian-wood(ヘルジアンウッド)」を2020年に開業。ハーブ園と水田の中にレストラン・SPA・サウナホテル・アロマオイル抽出工房などの施設が点在する「Village-村-」を立山連峰の麓で営む。同施設を中心に空き家や廃校、耕作放棄地の再生(アップサイクル)を推進。日本と富山の未来を描き、新たなプロジェクトに挑み続けている。



モデレーター 加藤 史子 氏

WAmazing 代表取締役CEO

慶應SFC卒業後、リクルートにてインターネットでの新規事業立ち上げに携わった後、観光産業と地域活性のR&D 部門じゃらんリサーチセンターに異動。主席研究員として調査研究・事業開発に携わる。2016年7月、訪日外国人旅行者による消費を地方にもいきたらせ、地域の活性化に資するプラットフォームを立ち上げるべくWAmazingを創業。コロナ禍期間中を乗り越え257名(2023年10月1日時点)の組織で、日本のナンバーワン外貨獲得産業になりうるインバウンド市場で日本経済の再興・地方創生を実現するプラットフォームサービスを作るべく挑戦中。内閣官房「新しい地方経済・生活環境創生会議」委員。

■ 特別講演「日本のスポーツ産業の持続的发展に向けて」(仮題)

スポーツ庁長官としてスタジアム・アリーナ改革や複合施設整備、最新技術を活用したトレーニング手法の評価、アスリートのデュアルキャリア支援に取り組み、更に地域スポーツコミッション支援やスポーツツーリズム推進など、地域活性化にも注力。これからのスポーツ産業の発展可能性についてお話いただく。



スポーツ庁 長官 / 東京科学大学 特命教授 室伏 広治 氏

陸上競技のハンマー投げ選手として2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京、2012年ロンドン五輪に出場。アテネ五輪では陸上・投擲種目でアジア史上初の金メダルに輝いた。現役中の2007年に中京大学大学院体育学研究科にて博士号を取得。2011年同大学スポーツ科学部にて准教授を務める。2014年には東京医科歯科大学にて教授を務めると同時に、スポーツサイエンスセンターのセンター長にも就任した。また、2014年に東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会スポーツディレクターに選任され、日本オリンピック委員会理事、日本陸上競技連盟理事などを歴任し、2020年10月より現職に就く。また2023年より政府代表として、世界アンチドーピング機構(WADA)の執行委員を務めている。

早朝プログラム 7月10日(木)

バードウォッチング

軽井沢プリンスホテル近郊を散策し、野鳥観察を行います。案内役を交えた朝食会では、野鳥や軽井沢の自然の解説も行います。悪天候で野鳥観察ができない場合は、朝食会のみの実施となります。

マインドフルネス

昨今、国内外の企業で広く取り入れられている「マインドフルネス」を屋外で行います。爽やかな軽井沢の朝の空気を感じながら瞑想をすることで、日々のストレスの軽減や集中力の強化を促します。悪天候の場合は宴会場内での実施となります。



参加・申込要項

開催日時 2025年7月9日(水)10:30▶10日(木)15:00

参加対象 企業・団体のトップマネジメントおよび経営幹部の方々

会場 軽井沢プリンスホテル ウェスト

〒389-0193 長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢1016-87 TEL 0267-42-1111

参加費(税込) 賛助会員：286,000円

一般：308,000円

参加費に含まれるもの：9日 昼食、夕食／10日 昼食、早朝プログラム

※宿泊費および朝食費は含まれておりません。ご宿泊ならびにご朝食につきまして、軽井沢プリンスホテルご利用の方には参加者特別料金が適用されます。参加お申し込み受付後にお送りする「参加のご案内」にホテルの詳細と宿泊予約案内を同封いたしますので、お手数ですがそちらをご参照の上、直接お申込み下さい。

お申し込みについて

セミナーホームページから必要事項をご入力の上、お申込みください。

軽井沢トップ



<https://www.jpc-net.jp/seminar/detail/002628.html>



歴史と伝統を基盤に、時代のさらに先へ。

進化し続ける「軽井沢トップ・マネジメント・セミナー」

1958年(昭和33年)8月11日から16日までの6日間にわたって「第1回 軽井沢トップ・マネジメント・セミナー」が開催されました。当時は、経団連、日本商工会議所、経済同友会との共催でした。そうした中で日本生産性本部は、当時ビジネスの最先端をリードしていた米国に視察団を派遣する等して得た知見や、培ったネットワークで集積した情報を、セミナーを通じて広く日本の経営者に伝えることで、日本の経営力の強化に繋げて参りました。

時を経て、インターネットの普及やIT技術の進化によって、世界中の情報に誰もが容易にアクセスできる時代となった今、この時代だからこそ一層大切になる「人と人との繋がり」が生まれる新しいスタイルのセミナーへと2022年度から進化を遂げました。志を高くもった経営者が一堂に会する「自社／自身の経営のあり方を見つめ直す場」を、この夏も提供してまいります。

公益財団法人 日本生産性本部 軽井沢トップ・マネジメント・セミナー事務局

セミナー内容について 高柳・原田・坂水

セミナーのお申し込み 尾崎

〒100-6105 東京都千代田区永田町2-11-1 山王パークタワー5F

TEL 03-5511-2028

E-mail topseminar@jpc-net.jp